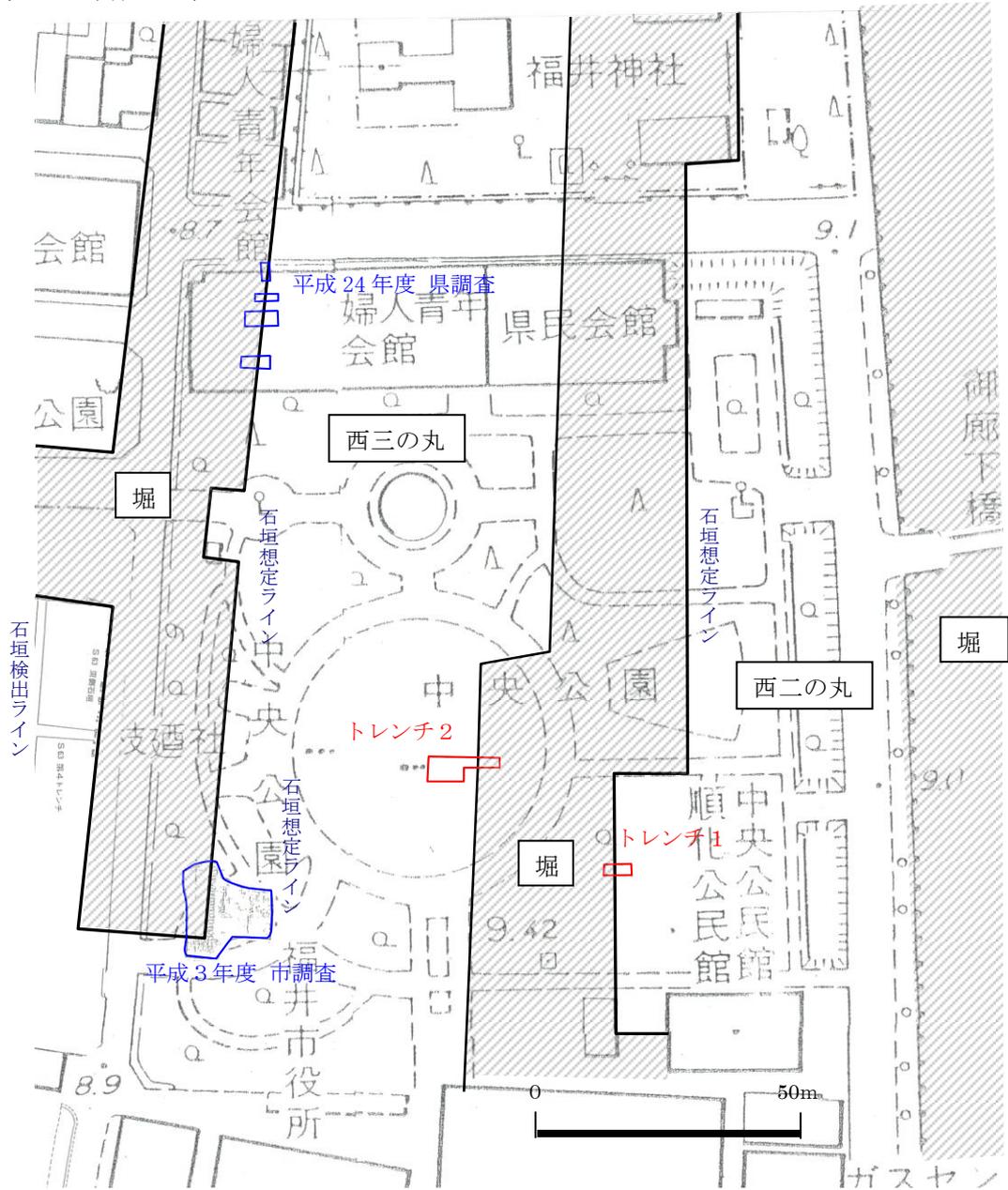
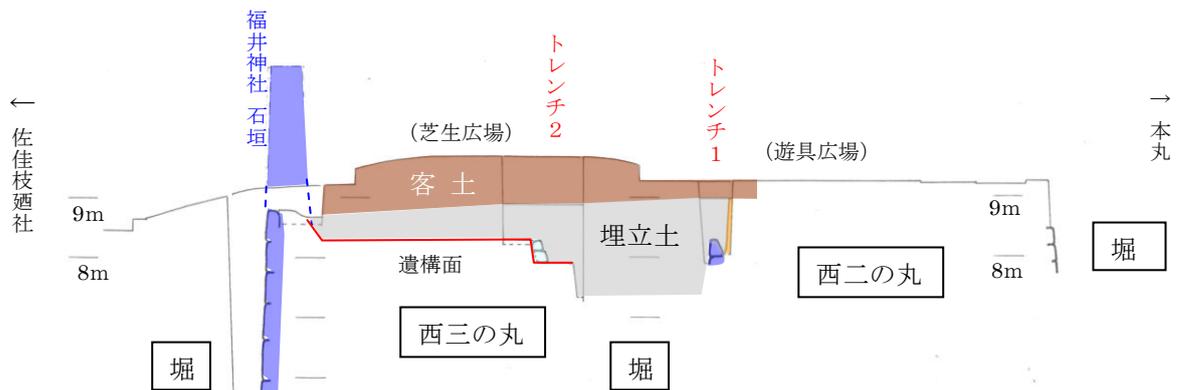


中央公園における福井城跡確認調査について

○調査期間：平成24年11月5日～19日



第1図 調査トレンチ位置図



第2図 調査地断面図

○トレンチ1 調査結果

- ・現地表から約1m下（標高約7.2m）で石垣を検出。
- ・石垣の残存段数は不明。調査では2段までを確認。
- ・石垣に刻印あり。
- ・もとは高石垣であったと思われる。
- ・トレンチ東端で土居跡を確認。



北壁土層堆積状況（南から）



刻印（上が堀）



石垣出土状況（西から）

○トレンチ2 調査結果

- ・石垣は取り除かれ、正確な堀の位置は不明。
- ・西側では地表-1.2m（標高8.0m）で遺構面を確認。
- ・遺構には南北に延びる石列のみを確認。
- ・御座所絵図と対照すると、石列は道と屋敷の境に位置する堀跡と推定される。



石列検出状況（北から）。



石列検出状況（東から）。手前の石列より奥が屋敷内にあたる。

○まとめ

- ・西二の丸の東西幅は約56m（約31間）である。
- ・平成3年度福井市・平成24年度福井県が実施した調査から西三の丸東面の石垣方向や位置は判明する。今回、西面にあたるトレンチ2では石垣の位置を確定できなかったが、西三の丸の東西幅は約50m（約28間）を推定。
- ・西二の丸、三の丸間の堀幅は約25m（14間）を推定（『福井分間之図』には13間と記載）。
- ・調査の結果、堀跡と推定できる石列は御座所に伴う遺構と考えられる。